

●分校8期生

入学おめでとう●

令和7年4月8日(火)、春の陽気に包まれ満開の桜が咲き誇る中、豊中高等学校能勢分校8期生22名の入学式が厳かに執り行われました。

保護者や来賓が見守る中、新入生たちは希望に満ちた表情で式に臨みました。准校長の式辞では「失敗を恐れず挑戦することの大切さ」が語られ、ユニクロ創業者やシリコンバレーの例を挙げながら、変化の時代を生き抜く力を育む教育方針が示されました。

能勢・豊能地域と連携した学びを通じて、生徒一人ひとりが自らの未来を切り拓くことを期待されています。新たな一步を踏み出した生徒たちの姿に、会場は温かな拍手に包まれました。



能勢分校
ホームページ



Facebook

地域魅力化クラブ
Instagramは
分校HPからご覧
いただけます。



2025年 体育祭を開催しました

スローガン「人類みな兄弟」

体育祭

～人類みな兄弟～



制作 3年 若崎愛花

ー海をテーマに、心をひとつにした体育祭！

5月23日(金)、体育祭を開催しました。

今年のスローガンは「人類みな兄弟」。

学年や立場を超えて、全員が一つになって盛り上がる一日となりました。

今年度もブロック分けをクラス対抗+PTAとし、PTAの皆さんも競技に積極的に参加していただきました。PTAブロックには卒業生も加わり、リレーでは教員の出番がないほどの盛り上がりでした。また、能勢ささゆり学園の4年生との交流競技「障がい物競争」も行われ、笑顔と拍手に包まれた和やかな時間となりました。小学生、高校生、PTAや卒業生と一緒に競技を楽しむ姿は、まさに「人類みな兄弟」の精神を体現していました。

ささゆり学園4年生と能勢分校3年生



1年生

2年生

3年生

今年の団テーマは「海」

- ・1年生：ライトイエロー
「水天一碧」爽やかさと初々しさを表現
- ・2年生：ライトパープル
「海月勝舞」柔らかさの中に芯の強さを表現
- ・3年生：ターコイズブルー
「Surf's up」波に乗る勢いと団結力を表現

午後は体育館に場所を移し、公式球バレーボールとソフトバレーボールの球技大会が行われました。どの試合も白熱し、応援にも力が入りました。

応援とシンボルの部では、3年生が圧巻のパフォーマンスで2部門優勝。競技の部では、2年生が見事なチームワークで優勝を勝ち取りました。各学年がそれぞれの個性を発揮し、他学年の応援にも熱がこもるなど、学校全体が一つになって取り組む姿が随所に見られました。

体育祭の準備や練習の様子が、能勢分校ホームページに掲載されている「地域魅力化クラブ」のInstagramからご覧いただけます。

生徒たちの努力と笑顔が詰まった記録を、ぜひご覧ください！

令和6年度卒業生(5期生)の進路状況

新しいステージで
がんばってます！

【 四年生大学 】

大学名	人数
大阪青山大学	1
関西国際大学	1
京都女子大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
小計	4

【 短期大学 】

	人数
湊川短期大学	1
小計	1

【 専門・各種学校 】

学校名	人数
愛仁会看護助産専門学校	1
大阪鉄道・観光専門学校	1
大阪動物専門学校	1
大阪農業大学校	1
大阪ハイテクノロジー専門学校	1
大阪ベルェベル美容専門学校	2
キャットミュージックカレッジ専門学校	2
なら食と農の魅力創造国際大学校	1
学校法人・専門学校HAL大阪学校	1
バンタン専門学校	1
小計	12



	人数
進学 計	17
就職・その他 計	7
合計	24

【 就職 】

企業名	人数
サカエトランSPORT(株)	1
自衛隊	1
(株)総合経営	1
日本郵政	1
(株)はあと	1
小計	5

【 その他 】

	人数
その他	2
小計	2

注目!

分校体験会・ 学校説明会

6月21日	第1回 分校体験会 (里山起業コース授業+クラブ活動)
8月9日	農業授業体験会 (食農流通コース授業)
8月30日	第2回 分校体験会 (対人支援コース授業+クラブ活動)
10月25日	プレ学校説明会 (分校文化祭に併せて行います)
11月8日	第1回 学校説明会
12月13日	第2回 学校説明会

※申込受付は各回約1か月前から行います。
詳細は能勢分校HPでご確認ください!!



地域とつながる実践型学習

「課題探究GSⅡ」始動！！

- 「課題探究GS」の3つのステップ
- ①自分たちで問いを立てる
 - ②答えの用意されていない問いに挑戦する
 - ③実践を通して総合的な力を身につける

今年度も能勢分校独自の探究学習「課題探究GSⅡ」がスタートしています。

この授業は、単なる知識の習得にとどまらず、生徒自身が社会の中にある課題を見つけ出し、その解決に向けて主体的に取り組む実践型の探究活動です。この学習を通して、生徒たちは「社会人基礎力」とされる「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」をバランスよく育むことができます。

特に注目すべきは、能勢・豊能の地域との連携を活かした実践的な取り組みです。能勢分校が位置する地域は「課題先進地域」とも呼ばれ、人口減少や高齢化、地域資源の活用など、さまざまな社会課題が存在しています。生徒たちはこれらのリアルな課題に向き合い、**地域の方々と協力**しながら解決策を模索します。

さらに、今年度初の取組として、探究活動をより実践的にするために、各チームは自らのプロジェクトに必要な予算をプレゼンテーション形式で獲得する機会が設けられました。予算の上限内で、購入スケジュールや事務手続きも含めた計画を立て、10分以内で発表。

准校長がその実行可否を判断します。このプロセスを通じて、生徒たちは企画力や交渉力、プレゼンテーション力も養うことができます。

探究学習の中で生徒たちは、「自ら考え行動する力」を身につけていきます。今後の活動にぜひご注目ください！

課題探究GS最終発表会のお知らせ

日時:12月24日(水)

場所:淨るリシアター
大ホール



農場だより

夏本番、様々な農産物がすくすくと育っています。生産物を収穫するためには、それまでの管理作業が適期かつ適切に行われることが重要です。まもなく夏野菜の収穫が本格化します！



養蜂の授業

【養蜂実習】

養蜂の授業が今年度も順調にスタートしています。

2、3年生ともに飼養目標を確認してから実習を開始。2年生は基本的な飼養技術の習得はもちろん、蜜源植物と採蜜の関わりを学習し、3年生はミツバチの活用や優良群の育成などについて学習します。

春休みの実習では日常管理と併せ、日本養蜂協会と連携した蜜源植物植栽事業としてカンキツ類の果樹を定植しました。

2年生は最初のうちはミツバチにおっかなびっくりですが、実習を重ねる度に扱いに慣れてきます。3年生は無事に越冬したミツバチを愛おしく想い、丁寧に管理しています。



農場の果樹たち

【わくわく教室】

5月15日(木)に、対人支援コース「保育基礎」受講生徒7名が、能勢町地域子育て支援センター「ピンキールーム」の2歳児・保護者と共に農場を訪れました。

子どもたちは、生徒と手をつないで農場内を散策。最初に鶏舎のニワトリや産みだての卵を見学し、ニワトリに触れ、人間より少し高めの体温(約41℃)を感じていました。防護服を着た生徒たちが実習している養蜂園では、ハチミツが詰まった巣枠を巣箱から取り出してもらい、間近に観察。巣枠から直接ハチミツをすくって試食し、その甘さに思わず笑顔がこぼれていました。その後色々な種類の果樹の様子を観察し、最後はウサギと触れ合い、子どもたちは大喜びの様子でした。秋にはクリの収穫体験などが予定されています。

【その他】

3月28日(金)に農業クラブ春の研修として、龍谷大学農学部にて雑草に関する講義を聴講し、農場見学をさせていただきました。今年度も9月13日(土)にはJA大阪北部との連携事業「親と子の食農体験学習」を、11月には大丸梅田店での販売実習が実施予定です。



わくわく教室のこどもたち

卒業生からのメッセージ

能勢分校2期生 濱 颯太さん
公立鳥取環境大学（環境学部）4年生

右:2期生の濱さん
左:3期生の中岡さん
(同大学3年生)



・大学四年間何を学んだのか

私が大学4年間で学んだことは色々ありすぎて何を書くのか困りますが、一番は自分とは違う価値観や感覚を持つ人たちと関わり方です。

大学は様々な地方や年齢、国籍の人々が集まってくる場所です。その中で人間関係を形成していくことになります。もちろん趣味や価値観が合う人という方が絶対に楽しいですし楽です。しかし世の中そういった人だけではなく、良くも悪くも自分が考えもしないことをする人や全く違う価値観を持つ人がいます。私はそういった人と出会った時、己の価値観や視野の狭さに気づきました。良くいうと自分の世界が一気に広がります。悪くいうと全く価値観が合わない人に出会った時の対処法を学べます。お互い納得するまで話すのか、距離を置いてみるのかなど、実際に遭遇してみないと味わえない感覚だと思います。

しかし今までの学校とも社会とも違う「大学」という場でのこれらの経験は、今後生きていくうえでとても重要な財産になり得ると私は思います。大学で学ぶ「お勉強」も大事ですが、こういった「人間関係の中で、学び成長できたこと」が一番の収穫だったと思います。

あと、レポートなどの提出期限は余裕をもって取り組まないといけないことも4年かけて学びました。

・今後どういう進路を考えているのか

これを書いている時は、公務員試験を受けるために絶賛勉強中です。

能勢分校・大学で地域課題やそれに準ずる環境問題について勉強したことで、地域に寄り添う・密着した課題解決を行うとともに、それをバックアップする仕事がしたいと思い、営利目的で働く民間企業ではなく、町・人のために働ける地方公務員になりたいと思っています。

地域高2留学



能勢分校は令和5年度から「地域高2留学」採択校（受入校）になりました。能勢町および関係団体と連携して、本事業に取組んでいます。

「地域高2留学」とは、内閣府が推進する事業で（高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業）全国の高校生が高校2年時の1年間、事業を採択している高校・地域に留学する制度です。

次年度の留学生の応募に向けて募集活動を行っています。

※「地域高2留学」の詳細はこちら(公式Webサイト)
<https://www.kouniryugaku.jp/>

この度、能勢分校の「地域高2留学」PRに向けたInstagramアカウントを開設しました。

能勢分校および能勢町の魅力や留学生活などについて発信をしていく予定です。ぜひフォローしてください。

▽Instagram「のせらいふ」URL
https://www.instagram.com/noselife_hs/



能勢・豊能地域学校連携・一貫教育

今年度は「SDGsフェスタ」の開催年です。11月ごろに能勢地域の学校が小中高の学校種別を超えて学習発表交流会を行います。

能勢分校では全校生徒が参加する予定です。現在、様々な企画に取り組んでいます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



留学生ホストファミリー&サポートメンバー募集

本校では、毎年長期・短期留学生の受入れを行っています。ホストファミリーまたはホストファミリーのサポートをしてくれる方を募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校

国際交流担当：田中 or 磯田

☎ 072-737-0666

toyonaka-noseb-hs@gedu.pref-osaka.ed.jp